

四万十町の人事異動

平成 30 年 4 月 1 日付（ ）内は旧

本 庁	総務課	主査（にぎわい創出課主査） 谷岡美希 主査（大正地域振興局地域振興課主査兼出納員）津野史司 主事（税務課主事） 山口百華 主事（新規採用）瀬戸明日見 財政班長（財政班主幹） 津野博 財政班主査（税務課主査） 岡崎純二 財政班主事（農林水産課林業振興室主事） 中島強				選挙管理委員会事務局	〔兼〕書記 谷岡美希 〔兼〕書記 山口百華 〔兼〕書記 瀬戸明日見
	危機管理課	課長（副課長兼総括主幹） 川上武史 副課長兼総括主幹（農林水産課総括主幹） 橋本剛臣 主事（新規採用） 國廣智哉					
	企画課	課長（健康福祉課長） 山本康雄 副課長兼まちづくり推進室長（総務課財政班長）大元学 副課長兼総括主幹（総務課主幹） 福留宏知 主事（新規採用） 谷雅仁 まちづくり推進室主査（企画調整班主査兼四万十川対策室主査） 西尾洋亮 まちづくり推進室主事（健康福祉課主事） 竹村俊斗 四万十川対策室長（企画調整班主幹兼四万十川対策室主幹） 中井智之 四万十川対策室主任（建設課主任） 坂東恭平				人材育成推進センター	次長兼総括主幹（総括主幹）武田正人
	税務課	主幹（総務課主幹） 中川貴之 主事（危機管理課主事） 玉川貴大 主事（農林水産課主事）森岡千尋 主事（新規採用） 松井一晟					
	町民課	副課長兼総括主幹（大正地域振興局町民生活課総括主幹） 清藤真希 主事（新規採用） 中原凜					
	健康福祉課	課長（危機管理課長） 野村和弘 総括技幹兼保健師（十和地域振興局町民生活課技幹兼保健師） 森太亮 主幹（大正地域振興局町民生活課主幹兼出納員） 浜田早苗 主査（十和地域振興局地域振興課主査） 久保渚 保健師（大正地域振興局町民生活課保健師） 森光海斗 主事（新規採用） 山脇一志 地域包括支援センター西部支所技幹兼保健師（大正地域振興局町民生活課主幹兼保健師） 堀本さゆり					
	農林水産課	副課長兼総括主幹（企画課副課長兼総括主幹） 池上康一 主査（学校教育課主査） 水田直哉 主事（学校教育課主事） 福永真帆 主任（新規採用） 中村江里 林業振興室主事（建設課主事） 柴優樹					
	にぎわい創出課	副課長兼総括主幹（農林水産課副課長兼総括主幹） 武井秀樹 主査（企画課主査） 岡村太介 主査（総務課財政班主査） 土居廣之主査（環境水道課主査） 中村良輔 主事（建設課国土調査推進室主事） 田井翼 主事（生涯学習課主事） 佐々木啓人 主任（新規採用） 嶋岡茉美 地産外商室長（企画課企画調整班長） 小笹義博 地産外商室次長兼総括主幹（高知県農業振興部産地・流通支援課チーフ） 竹澤和子 地産外商室主査（高知県出向） 森田工					
	会計管理室	主査兼出納員（町民課主査） 武内由美					
	建設課	〔兼〕国土調査推進室長 吉岡孝祐 主査（高知県出向） 戸田進太郎 主事（十和地域振興局地域振興課主事） 岡本侑大 主任技師（新規採用） 松下陽介 国土調査推進室主事（新規採用） 坂山陸					
	環境水道課	主査（生涯学習課主査） 西村範明 主査（再任用更新） 高橋一夫					
	教育委員会	学校教育課	主幹（農業委員会西部駐在所主幹） 中屋大樹 主任（新規採用） 田井真里奈				
		生涯学習課	副課長兼総括主幹（健康福祉課主幹） 佐竹あゆみ 主任（総務課主任） 松田佐穂 主事（十和地域振興局町民生活課主事） 竹本将太 主事（新規採用） 西内隆朗				
	農業委員会事務局	事務局長兼西部駐在所長（生涯学習課副課長兼総括主幹） 西田尚子 西部駐在所主幹（税務課主幹） 有田佳弘					
大正地域振興局	地域振興課	主幹兼出納員（税務課主幹） 岡村昭典 主査（建設課主査） 北村太一 技査（新規採用） 山下竜一				選挙管理委員会事務局	〔兼〕書記 岡村昭典
	町民生活課	総括主幹兼出納員（十和地域振興局町民生活課総括主幹） 植村三千代 主幹（健康福祉課主幹） 佐竹仁美 技幹兼保健師（地域包括支援センター西部支所技幹兼保健師） 石川恵理 保健師（新規採用） 伊尾木なつ子					
	国保大正診療所	副所長（新規採用） 筒井崇 事務長（にぎわい創出課副課長兼総括主幹） 川村裕之 看護師（国民健康保険十和診療所看護師） 土居由美 看護師（新規採用） 長山愛 看護師（新規採用） 井東知佐					
十和地域振興局	地域振興課	主査兼出納員（総務課主査） 井口佐奈恵				選挙管理委員会事務局	〔兼〕書記 川上一磨
	町民生活課	主事（にぎわい創出課主事） 平野勝己 保健師（新規採用） 竹崎愛					
	国保十和診療所	〔兼〕事務長 川村裕之 看護師（国民健康保険大正診療所看護師） 近森英子					
保育所	見付保育所	総括主幹兼主任保育士（東又保育所総括主幹兼主任保育士）森田美紀		東又保育所	総括主幹兼主任保育士（興津保育所総括主幹兼主任保育士）中越ゆき恵		
	興津保育所	総括主幹兼主任保育士（見付保育所総括主幹兼主任保育士）松井真智		認定こども園たのの	園長（北ノ川保育所長） 芝ゆみ 主幹兼調理師（小鳩保育所主幹兼調理師）岡本幸代 保育士（再任用更新） 竹内利恵		
	北ノ川保育所	所長（認定こども園たのの園長） 田邊美加 主幹兼保育士（見付保育所主幹兼保育士）鎌倉由香		昭和保育所	主幹兼調理師（認定こども園たののの主幹兼調理師） 川上玉水		
	小鳩保育所	主幹兼主任保育士（北ノ川保育所主幹兼保育士） 宮田愛 主幹兼調理師（昭和保育所主幹兼調理師） 亀越栄美					
学校校務	田野々小学校	主幹兼学校校務員（影野小学校主幹兼学校校務員） 岩本直美		昭和小学校	主幹兼学校校務員（大正中学校主幹兼学校校務員） 中平優美		
	窪川中学校	主幹兼学校校務員（東又小学校主幹兼学校校務員） 廣田広美		大正中学校	主査兼学校校務員（北ノ川小学校主査兼学校校務員） 池上佳子		
派遣	高知県総務部市町村振興課		（会計管理室主任兼出納員） 尾知紋圭		高知県地域福祉部高齢者福祉課		（にぎわい創出課主事） 河原一郎
	高知県後期高齢者医療広域連合		（企画課四万十川対策室長） 岡英祐		高幡広域市町村圏事務組合 租税債権管理機構		（大正地域振興局町民生活課主事） 林千紘
退職	田辺卓（政策監兼国民健康保険大正診療所事務長兼国民健康保険十和診療所事務長） 山脇公明（建設課 国土調査室長） 敷地敬介（企画課長） 西谷久美（農業委員会事務局長） 小野川恵利（健康福祉課総括技幹兼保健師） 川上真喜（町民課副課長） 井上義之（農林水産課主幹） 高口亨太（にぎわい創出課主査） 鳥海美樹子（健康福祉課社会福祉士） 中川大輔（国民健康保険大正診療所副所長） 牧野美保（田野々小学校主幹兼学校校務員） 西内良恵（窪川中学校主幹兼学校校務員） 和手一代（小鳩保育所保育士） 下藤広美（大正地域振興局地域振興課主査）						

平成 30 年 4 月 9 日付（ ）内は旧

本 庁	
選挙管理委員会事務局	〔兼〕書記を解く 福留宏知 〔兼〕書記を解く 中川貴之 〔兼〕書記を解く 井口佐奈恵 〔兼〕書記を解く 久保渚

高知市と「れんけいこうち広域都市圏形成に係る連携協約」を締結しました

3月28日、高知市と「れんけいこうち広域都市圏形成に係る連携協約」を締結しました。四万十町では高知県から交付金を受け、今年度は日曜市への出店や、観光施設の改修、四万十町のPR映像やパンフレットの作成などに活用します。県全域を枠組みとした取り組みは全国初で、今後もさまざまな分野で連携を強化しながら取り組みを実効あるものにしていきます。



れんけいこうち 広域都市圏形成とは

県内の人口・都市機能が高知市へ集中しており、県内他市町村と経済的に相互補完関係にあることなどから、高知市と県内 33 市町村が連携協約を締結することにより、高知県からも支援を受けながら、県内で一丸となって圏域の活性化や人口減少の克服を目指す取り組みです。

第7回育成事業 志国高知・幕末の歴史たんけんツアー

3月11日、四万十町青少年育成町民会議、第7回育成事業「志国高知・幕末の歴史たんけんツアー」に四万十町内の小学生6名と保護者3名、スタッフ6名が参加しました。

今回の育成事業は、町内の児童に幕末に活躍した高知の偉人を知ってほしいという願いから開催しました。まず、高知城に行き、散策をしながらボランティアガイドさんに高知城の歴史や特徴を教えてくださいました。その後、天守閣から高知の街並みを見ながら、お城の役割について学びました。



次に、昨年完成した高知城歴史博物館に移動し、四万十町出身の谷干城や坂本龍馬などの幕末の志士の活躍について学びました。その後、武士の兜や刀、陣羽織の試着をしたり、貝合わせ遊びをして、普段学習できない体験活動を行うことができました。

参加者が少なかったことが少し残念でしたが、とても勉強になったと感想をいただきました。

谷干城フィギュア像完成除幕式が執り行われました



3月29日、旧都築邸前駐車場にて、谷干城フィギュア像完成を記念する除幕式が行われました。除幕式には、谷干城のご子孫や県の関係者、制作に携わった関係者らが出席しました。

アトラクションとして「四万十太鼓」の演奏から始まり、式典ではご子孫代表者（谷守弘氏）による謝辞などをいただき、町長をはじめとする6名の代表者によって除幕されました。

また、維新博の取り組みに合わせて制作を進めていた谷干城を紹介するHPも開設されました。



谷干城HP

アユの稚魚の試験放流を行いました

4月4日・13日に四万十川にアユを増やす取り組みの一つとして、アユの稚魚の試験放流を行いました。両日とも天候に恵まれ、2日で約 70 名の方にご参加いただき、バケツでの放流を実施しました。これから友釣り解禁日である5月15日までの間、清流の中で順調に成長してくれることを願い、地元住民や漁協関係者の方たちと協力しながら見守っていきます。

